

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	2 4 4	学校名	仙台市立根白石中学校	校長名	東 貴彦
------	-------	-----	------------	-----	------

1 取組のタイトル, テーマ

「 日常の学校教育活動における環境活動 」



2 取組の紹介

① 学校梅園での梅の実収穫

本校では、特色ある教育活動の一つとして、6月に学校敷地内にある梅林に実った梅を全校生徒で収穫しています。収穫した梅は、希望される保護者や地域の方にお譲りしています。自然の恵みに感謝し、収益金は教育活動に有効に活用しています。



② 全校奉仕作業（除草作業）

P T A総務研修委員会が主催して、年に2回、全校生徒と教職員、保護者が参加して校地内の清掃活動を行っています。除草作業が中心ですが、朝早くから多くの方々に参加していただいています。本校の良さは、地域の行事に生徒や保護者が積極的に参加するところで、学校環境の美化や保全につながっています。



③ 野外活動における環境学習

2年生の野外活動では、気仙沼・唐桑半島で活動するN P O法人「森は海の恋人」を訪問し、豊かな自然環境の中で人と自然のつながりを体験的に学習できるプログラムに参加しています。普段の生活ではあまり接することのない海辺での自然環境保全について学びを深めています。



④ ペットボトルキャップ回収活動

世界中の子供たちにポリオワクチンを届けようということから、生徒会執行部が提案し、ペットボトルキャップの回収活動に毎年取り組んでいます。今年度も、各教室に回収ボックスを設置して、より多く回収しようと取り組んでいます。回収したキャップは洗浄・分別を行い、J Aにお願いをして「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付しています。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

自然環境に恵まれ、普段自分を取り巻く自然環境を意識することが少ない生徒たちですが、それぞれの活動を通して、生徒自身が環境問題に対する理解を深め、自ら考え、解決に向けて行動する資質や能力を高めることができたと感じています。野外活動における環境学習では、身近ではない海の環境を知り、その環境を維持・保全するために取り組んでいる人々の活動から多くのことを学ぶ良い機会になっていると思います。また、梅の実収穫は毎年取り組んでいる活動ですが、収穫量に差があることから、日照や降雨量などの自然環境は生物に対し大きな影響を与えることを感じています。ペットボトルキャップ回収活動は、生徒会執行部が生徒総会で提案し取り組んでいる活動ですが、毎年意識を新たにしながら取り組むことにより継続することの大切さを理解しています。

今後も、これらの活動を通して周りの自然環境に関心を持ち、その保全について意識を高めたいと思います。